東京鳩会 会報

長野県屋代高等学校
発行：東京鳩会事務局

第34号

題字は初代会長笠井正人氏

会長挨拶

会長　重見憲明
（高校十七回生）

東京鳩会の皆様におかれましてはお元気でご活躍のことと存じます。

平素は同窓会の運営に対し温かいご理解、ご支援を賜り心から御礼申し上げます。

この一年間を振り返ってみますと世界の相次ぐ紛争は今なお終りが見えず更に、昨年11月の米国大統領選挙で誕生した第2期トランプ政権は米国第一主義で邁進、国際協調は後退し国内外で分断と対立が進み、不安定、憂慮すべき事態が続いております。

一方日本社会のこれまでは、と振り返ってみると、山に例えれば戦後の高度成長期までは「富士山型」―一体感で高成長―、2000年代以降は「八ヶ岳連峰型」―多様性尊重し持続性社会―、に移行途上。自国第一主義へと急激に変化している国際情勢に対する、日本社会の在り様はいかにと、自問すると「富士山型」回帰への衝動もあるが、対外柔軟性の欠如、国際的評価の低下、など回帰リスクも大きい。択一ではなく双方の長所を活かして、「富士山型」は国家レベルの安全保障・経済戦略・技術開発、などに限っての、ハイブリット型を目指した、取り組みが現実的かと思うところである。

さて東京鳩会の活動状況ですが会報はさらに幅広い会員の皆様から寄稿頂きながら例年通り作成、皆様にお届けすることが出来ました。またコロナ禍で中止余儀なくされていた、4年振りの総会・懇親会に続いて、本年は2月15日に開催し、昨年を上回る人数の皆様のご出席を頂き大いに盛り上がり、賑やかな会となりました。会員の皆様には改めて感謝申し上げます。

今年度の総会・懇親会は令和8年2月14日(土)昨年同様、東京ガーデンパレスにて開催を予定しております。昨年を上回る多数の会員の皆様のご出席と、併せて今後の会の運営に対しましても引き続いての皆様のご支援ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

終りに会員の皆様の益々のご活躍とご家族共々のご健勝をお祈り申し上げます。

高校野球、68年ぶりのベスト8
―東京鳩会・春原正道氏に感謝

同窓会長　赤地憲一
（高校十七回生）

東京鳩会・重見憲明会長様はじめ会員皆様には、益々ご清祥の段、心よりお慶びを申し上げます。日頃は、母校同窓会に対して格別なご支援を賜り、心より厚く御礼を申し上げます。

さて、今夏は（令和7年7月）、長野県下どこへ行っても、まず屋代高校野球班の躍進が話題になる特別な夏でした。第107回高校野球選手権長野大会において、68年ぶりの好成績を収めたからでございます。準々決勝の結果です

松本国際	6－1	屋代
佐久長聖	6－3	伊那北
松商学園	3－1	長野工
上田西	7－0	長野西

68年前の第39回選手権長野大会（昭和32年、1957年）の記録を『屋代高校100年史』に拾いますと―

松本県丘	1－0	屋代東
上田松尾	6－3	穂高
松商学園	3－0	松本深志
飯田高松	4－0	長野

この年の中心選手は、2年生ながら5番右翼で先発出場した春原正道選手（高11回、東芝関西LE社・常務取締役、平成12年退任）でした。この大会期間中、参加全校の本塁打数は、松本球場の両翼が98mという広さのためか、僅か1本でしたが、その1本を春原選手が放ちました。

そして、3年生ではエースとして、ベスト8をかけて再び県ケ丘と対戦し、引き分け再試合という熱戦を演じ、失点は1点でしたが、惜しくもベスト4進出は成りませんでした。春原選手は、翌年早稲田大学政経学部に進学し、同時に野球部に入部します。

4年生からは、早大のクリーンアップとして、東京6大学を代表する選手になられ、秋季リーグ戦では、.444という高打率を残されます。（規定打数が1打数足りず首位打者を惜しくも逃す。）

現在（令和7年）、85歳を迎えておられますが、令和2年以来、早大時代2年下級の石山建一氏（静岡高校出身、甲子園準優勝、早大監督➡読売巨人軍フロントを歴任）を伴って、毎年約20日間に及ぶ熱血ご指導に来校されておられます。本年の快進撃は、この5年に及ぶ熱情溢れるご指導が結実したもので、心よりの感謝と敬意を申し上げます。

＊

母校生徒の現況を、ダイヤモンド社『全国大学「合格力」ランキング』（2025年8月号）から転載させていただきます。

県内順位	学校名	卒業生数	大学合格力	全国順位	合格者数 国公立 179大学	東大	京大	難関私学 2大学	医学部 国・私・省立
1	長野	272	43.3	36	214	8	4	45	31
2	松本深志	310	39.4	79	226	1	5	12	18
3	屋代	267	36.6	128	186	4	5	28	20
4	上田	314	32.3	202	193	3	2	22	3
5	伊那北	232	30.1	254	134	1		4	5

終わりにあたり、貴会の益々のご発展と、会員皆様のご健勝、ご活躍を心よりお祈り申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

躍動する屋高健児

学校長　馬場　正一

重見憲明会長様をはじめ、東京鳩会の皆様におかれましては、平素より母校の教育活動に対し格別のご支援とご厚情を賜り、心より御礼申し上げます。

今年度は、夏の全国高等学校野球選手権大会長野大会で野球班が68年ぶりとなる県ベスト8に進出し、ギター・マンドリン班が全国高等学校ギター・マンドリン音楽コンクールにおいて吹田市長賞（全国5位相当）を受賞するなど、伝統あるクラブが近年にない好成績を挙げてくれました。とりわけ野球班の準々決勝・松本国際高校戦では、セキスイ松本スタジアムに多くの生徒が電車やバスを乗り継いで応援に駆けつけ、応援団と吹奏楽のリードのもと、スタンドが一体となって力強い声援を送りました。惜しくも初の4強入りはなりませんでしたが、選手たちの堂々たる戦いぶりと、応援する生徒たちの清々しい姿は、まさに屋高健児らしい青春の光景であったと感じております。OBの皆様からも温かな励ましと称賛のお言葉を数多く頂戴し、この場をお借りして改めて感謝申し上げます。

進路の面におきましても、生徒たちは最後まで粘り強く受験に立ち向かい、この春の卒業生は169名が国公立大学に合格しました。国公立大学への進学率は56.6％にのぼり、昨年度に続いて県内トップの実績を挙げました。旧帝大や医学部医学科といった難関国立大学への進学者も25名にのぼり、大変な健闘を見せてくれました。これらの成果は、附属中学校から入学した一貫生だけによるものではなく、高校から入学した理数科生も京大1名、東北大5名が合格し、普通科生も6割近くが国公立大学に合格しています。それぞれの生徒が自らの可能性を信じ、たゆまぬ努力によって進路を切り拓いていったことを大いに称え、そして、地域の皆様にも広くお伝えしていきたいと考えています。

入試直前の年末年始には、同窓会館を開放していただき、同窓会長　赤地先生のご厚意のもと、6日間で延べ219名の生徒が利用させていただきました。こうした温かなご支援の積み重ねこそが、生徒一人ひとりの学びと成長を支えてくださっているものと感謝申し上げます。

学習活動の面では、文部科学省より指定を受けているスーパー・サイエンス・ハイスクール（SSH）事業が、「先導的改革型Ⅱ期」の2年目を迎えております。昨年度から信州大学との連携のもと、県内外の高校にも参加を呼びかけて「課題研究研修会」を開催しております。今年度はさらに新たな取組として、理数科生による英語での研究成果発表会「Science Fair」を実施いたしました。発表には本校英語科教員のほか、県内各地から11名のALT（外国語指導助手）を招聘し、発表後には英語による質疑応答も行われました。生徒たちは準備に苦心した様子でしたが、発表や質疑をやり遂げた経験は、今後の英語学習への新たな意欲を喚起する貴重な機会となりました。本校のSSH事業は、全校を挙げて取組む課題研究が高く評価され、全国的にその成果を発信する立場として23年間にわたり指定を継続してまいりました。しかしながら文科省の方針により、「先導的改革型Ⅱ期」以後は継続指定が行われないことが示されています。今後も、これまでに培った知見とネットワークを生かし、生徒にとって有益な学びの場を創ってまいりたいと検討を進めております。

また、創立100周年記念事業の一環として改修いただいた1棟屋上の天体望遠鏡につきましては、天文班OBの皆様のご尽力により、今年度、新たに自動導入・自動追尾システムを整備していただきました。これにより観測環境が大幅に向上し、生徒たちは、空気が澄んで夜空が美しい、これからのシーズンの天体観測を心待ちにしております。こうした一つひとつの取組が、同窓生の皆様のご支援の賜物であることを、深く感謝を申し上げます。

この夏は例年以上の酷暑となりましたが、生徒たちは校内外において力強く躍動する姿を存分に見せてくれました。教職員一同、今後も生徒の可能性を最大限に引き出し、地域や同窓の皆様に誇れる学校づくりに全力を尽くしてまいります。

末筆ながら、東京鳩会のますますのご発展と、会員の皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

令和六年度 総会出席者名簿
（敬称略・50音順）

母校来賓	
同総会長	赤池憲一
校　長	馬場　正一
同窓会副会長	長谷川　はるみ
特別ゲスト	朱紫　令真（元宝塚歌劇団）
高校7回	唐木田　正二
	春原　欣之助
高校8回	武井　武
高校9回	柿﨑　正義／宮城　宏成
	山崎　裕一
高校10回	高野　正樹
高校12回	親松　逸雄／高松　雄行
	松本　章
高校13回	久保田　宗貴
高校14回	中山　宣子／仁科　陽
高校17回	岡田　正夫／神津　修吉
	重見　憲明／林　俊一
高校18回	北川　正次／柳澤　久
高校19回	北澤　悦雄／倉島　洋二
	羽賀　芳幸／安川　信
高校20回	伊東　博道／峯村　英治
高校21回	清水　勝／中沢　安昭
	森　正明
高校25回	小林　秀樹
高校31回	沓掛　英二
高校34回	清水　美八／深澤　昌子
	宮澤　信彦
高校35回	梅村　由香／小山田　浩
	平井　直之／堀越　昭宏
	宮澤　修二／森村　たまき
高校37回	宮澤　康一
高校41回	植田さおり／児玉　孝子
	藤本　剛功
高校45回	久保田裕一／小林　貴之
高校55回	村松　頼信
高校57回	太田　擁
現役学生	上澤　一汰／畦上悠暉

雑感

東京鳩会に寄せて

高校三十一回生　沓掛英二

本年9月にホームカミング鳩会同窓会にて46年ぶりに6クラスの合同にて多くの同窓生と再会いたしました。特に還暦を迎えた5年前はコロナ禍にてクラスの同窓会を企画しようと働きかけましたが開催できませんでしたので、最初は全く分からない人も、お酒が進むにつれて思い出がよみがえり（ボケ防止には同窓会がよいそうですが……）部活の友達やクラスでの様々なことが思い出されて、体形、髪の毛の変化はさておき、皆さん元気で活躍されていることに驚かされ、大変楽しいひと時となりました。また母校屋代高校のOBの結束や発展にも感動いたしました。

私は屋代高校を昭和54年卒業（31回）にて、東京に上京したい一心で、都内の私立大学を5校受験してすべて不合格となり、高田馬場の予備校入学にて上京の夢がかないました。が高校生活のバスケット部の活動や遊び、そもそも勉強の基礎が全くなく、誘惑が多い東京では本当に勉強に集中できるのか大変不安にて、「予備校の寮生活しかない！」と自分をあえて厳しい環境において猛勉強をしたと自分なりには思っています。予備校生活では外食は大晦日の1日だけで、寮長の厳しい指導もあり極めてストイックな勉強漬けの毎日を送りました。やっとのことで明治大学政治経済学部入学できました。学生時代はアルバイト、サークル、少し勉強……と4年間はその当時の時代を謳歌した都会の学生生活を映した思い出です。昭和59年（1984年）、当時では最も厳しい職場と実力主義（ノルマ証券）と学生仲間では噂された野村證券に入社、入社動機は「証券市場の最も厳しい職場環境で自分を鍛えてもらい、自分が成長する」でした。入社してからはすっかり株式市場のダイナミズムやビジネスのスケールに魅了され、厳しい仕事や数字はともあれ、達成感やお客様の喜びに貢献できるビジネスが本当に好きになりました。バブル崩壊以降でも証券市場の役割の重大さを痛感し、お客様の利益のために努力する証券マン生活を送れたと自負しています。

当時最年少の36歳で厚木支店長はじめ京都支店長など経験し、47歳で役員になりリーマンショックを経て（野村証券はリーマンのアジア、欧州部門を買収）気づいたら2012年から副社長を2年経験させてもらいました。2014年に野村不動産ホールディングスへ転籍となり、2015年から8年間グループの社長・CEO、2023年から会長を務めております。自分の経歴を云々するつもりはありませんが、会社人生ではお客様とのご縁の大切さや、街づくりを通じて人々の生活や人生と寄り添う時間軸の長い信頼関係の重要性を学びました。今回は自己紹介中心のお話になりましたが東京鳩会では世代を通じて交われる素晴らしい会であるとともに、様々なご縁を大切にしてまいりたいと存じます。また先輩はじめ皆様にお会いして様々なお話を伺えれば幸いでございます。

「サード・プレイス」のススメ

高校三十五回生　梅原由香

中国『成都大熊猫繁育研究基地』の取材時にパンダと写真を撮らせてもらいました

東京鳩会幹事、高校35回生の梅原由香です。あのグリーンの校舎でのびのび過ごしたのち、東京の大学に進学。卒業後は地元に戻り、信越放送でラジオ番作制作を担当したのち東京に戻り、今はフリーで番組構成の仕事をしております。

このところ注目されている「サードプレイス（第三の場所）」という言葉があります。これは自宅、学校、職場とは別に存在する、居心地のいい居場所のこと。ストレスの多い現代社会において、ストレスから解放され憩うことのできる場所の重要性をアメリカの都市社会学者レイ・オルデンバーグが説き、注目されるようになった言葉です。

今、私にとっては東京鳩会が「サードプレイス」の一つとなっています。恥ずかしながら東京鳩会を知ったのは、ほんの数年前のことでした。ひょんなことからお誘いいただいた総会、そこでの先輩方との語らいは、たとえ年齢は違っても同じ場所で青春を過ごした同窓ならではの、多くを語らなくても通じ合える、ぽっと心に火がともるようなものでした。その後、幹事にもお声がけいただき、定期幹事会での気の置けない語らいは間違いなく私にとっての「サードプレイス」となっています。

今年もまもなく東京鳩会総会が開かれます。「参加してみたい」と思いながら「知らない人も多そうで敷居が高い」と躊躇している方、ぜひ一度足をお運びください。年は違っても同窓生ならではの温かく堅い繋がりを感じられるひとときはきっと皆さまの活力のもととなると思います。そして、そこで出会った友人や知人との時間が皆さんの「サードプレイス」になるよう、精一杯お手伝いする所存です。

ボストンで得た学びと挑戦への思い

高校四十五回生　小林貴之

「ボストン」と聞いて、皆さんは何を思い浮かべるでしょうか。ボストン茶会事件、レッドソックス、ボストン交響楽団（小澤征爾さん）など、さまざまなイメージがあるかと思います。私自身はこの街に2年間滞在し、ボストンが「最先端の科学技術を生み出す発明の街」であると実感しました。

ボストンには、ハーバード大学やMITなど、世界的に有名な教育・研究機関が集まっています。両校だけでノーベル賞受賞者は250人以上（うち日本人は25人）にのぼり、まさに〝知の集積地〟と呼ぶにふさわしい場所です。研究は単なる発見にとどまらず、成果がすぐに事業化される点が特徴的です。新興企業が次々と誕生し、人材と資金が集まり、活発な経済圏が形成されています。私はある企業の米国法人に所属し、現地の研究者と共に抗がん剤の研究開発に携わりました。大学・企業・病院が密接に連携し、基礎研究から実用化までの流れが非常にスムーズであることに驚かされました。

家族でボストンに移住したため、子ども2人は現地校に通うことになりました。英語がほとんど分からない状態での入学でしたが、先生やクラスメートの温かいサポートに支えられ、少しずつ環境に馴染んでいきました。自国の偉人を調べる授業では、日本人の偉大さを学び、アメリカ人に劣らないと感じたようです。アイデンティティの面で少し心配もありましたが、日本の偉人を通じて、自分たちが日本人であることに誇りを持つようになりました。子どもたちの礼儀正しさや協調性、勤勉さといった日本人らしい姿勢は現地でも高く評価され、彼らの成長を通じて、日本人の素晴らしさを改めて実感することができました。最近では「将来は海外で働き、日本人のすごさを示したい」と語るようになり、親としても嬉しく思っています。

ボストンでの経験は、私にとって研究者としての価値観を大きく揺さぶるものでした。自分の専門性を武器に、積極的に意見を述べ、挑戦する姿勢が評価される環境は、刺激的であり、心地よい緊張感に満ちていました。日本に戻った今も、その感覚が忘れられません。もう一度、あのアグレッシブな世界に身を置き、創薬というフィールドで勝負してみたい―そんな思いが、日々の研究の原動力になっています。

最後に、私は屋代高校の中

環境・施工設計コンサルタンツ
株式會社 スマート建築研究所
代表取締役　柿﨑正義（高9）
工学博士（DSe）　技術士（建設部門）
管理建築士、監理技術者
東京地方裁判所 調停・鑑定・専門委員
足立区西竹の塚二－六－十六
☎〇三－三八九九－四二一五

株式会社　大東工業
代表取締役社長　横山洋治（高13）
（本社・東京工場）大田区矢口二－二－五
☎〇三－三七五〇－九〇五六

株式会社
シンク・エンジニアリング株式会社
名誉会長　岡村國弘（高13）
目黒区自由が丘三－十六－十五
☎〇三－三七二四－七二〇一

東京鳩会　総務担当
仁科　陽（高14）
江戸川区南葛西七－一－六－四〇九
☎〇三－三六八〇－三八八五

東京鳩会　会長
重見憲明（高17）
杉並区和田一－一三－一九－二〇七
☎〇三－三三八二－六四四九

東京鳩会　幹事長
岡田正夫（高17）
横浜市都筑区荏田南三－七－八
☎〇四五－九四二－一四四〇

電気通信大学　名誉教授
柳澤　久（高18）
鎌ヶ谷市富岡三－一五－六
柳澤道場
☎〇四七－四四五－四〇一六

株式会社　守谷商会
相談役　伊藤隆三（高19）
（東京支店）千代田区岩本町二－三－三
☎〇三－五八五八－三一一〇
（本社）長野県長野市南千歳町八七八
☎〇二六－二二六－〇一一一

東京鳩会　総務担当
安川　信（高19）
所沢市小手指南六－一四－一－一〇七－二－三〇三
☎〇四－二九四九－四〇四九

東京鳩会　総務担当
伊東博道（高20）
大田区下丸子四－二二－一七－一〇〇三
☎〇三－五四八二－九〇三〇

水澤法律事務所
弁護士　水澤恒男（高20）
新宿区四谷四－二八－一五
慶和ビル4階
☎〇三－六三八四－一七六五

東京鳩会　広報担当
峯村英治（高20）
入間市豊岡一－八－二－七一五
☎〇九〇－二三〇六－七六九八

オーディンホーム建築工房
代表　森　正明（高21）
目黒区緑が丘二－一四－一六
自由が丘アーバンライフ三一一
☎〇三－六四五九－五二七五

東京鳩会　広報担当
清水　勝（高21）
江戸川区北葛西四－一一－二〇九
☎〇九〇－九九七六－一九二九

株式会社　テクノプラン
代表取締役社長　中沢安昭（高21）
新宿区新宿六－二七－五六
新宿スクエア4F
☎〇三－五二九二－〇一六二

一般社団法人 教育システム支援機構
日本防災管理協会　主管
「防災危機管理者」養成講座
理事長　滝澤雄一（高21）
港区芝二－一〇－一
芝ブライトビル一階
☎〇三－五六五六－五三四三

野村不動産ホールディングス株式会社
取締役会長　沓掛英二（高31）
港区芝浦一－一－一
ブルーフロント芝浦タワーS
☎〇三－六三八一－七五〇〇

高校三十四回有志
在京屋高34回

学生や高校生と一緒にこの地を訪れ、アメリカの〝知の集積地〟を実際に体感する機会を作れたらと願っています。世界の最先端に触れることで、若い世代が自らの可能性に気づき、未来への一歩を踏み出すきっかけになれば、これほど嬉しいことはありません。

テニスが繋ぐ縁

高校四十五回生　中村　敬喜

「俺、テニス班入ろうと思うんだけど、一緒にどう?」私が屋代高校の硬式テニス班に入ったのは、同じ松代中学校出身の友人のそんな一言がきっかけでした。その時は、テニスがその後の人生でこれほど多くの縁を運んでくれるとは思いも寄りませんでした。高校時代はテニス自体はあまり上達せず、戦力としては班に全く貢献出来ずに終わってしまいましたが、暗くなるまで汗を流したテニスコートが今でも思い出されます。

高校を卒業して東京大学に入学した私は、高校時代の班活の不完全燃焼のリベンジを果たしたい気持ちもあり、東大の体育会テニス部の門を叩きました。インカレ出場選手もいるハイレベルな環境で、またしても部の戦力にはなれませんでしたが、少しはまともにテニスができるようになりました。

東大では理学部天文学科で理論天体物理学を学びました。大学を卒業後、大学院の修士課程、そして博士課程に進み、なんとなく自分は学者になるのかなと思っていました。しかし、別の世界へ導いてくれたのは、テニスの縁でした。博士課程1年のある日、大学の掲示板にある外資系証券会社のインターン募集のお知らせを見つけました。そこにはリクルーターとして東大テニス部の先輩の名前が。早速連絡してみると、部の後輩ということで高倍率のインターン選抜を通して頂き、金融マーケットの世界の魅力をじっくり聞かせて頂きました。結局、博士取得後に、その先輩が元いた別の外資系金融機関でキャリアをスタートさせることとなりました。

社会人になって入社した会社でまず仲良くなったのは、やはりテニス経験がある同期でした。「今度、俺のテニスサークルの知り合い連れてくるよ。」こうして彼が連れてきた女性が私の妻になりました。

その後日本の銀行に転職し、6年半ほどニューヨークに駐在する機会がありましたが、そこでもテニスが世界を広げてくれました。ニューヨークの郊外では、綺麗に整備されたテニスコートが予約なしで使えます。そこで日本人以外にも、ロシア人、インド人など世界各国の人と知り合い、家族ぐるみの付き合いができました。地元のチームに加わって、全米テニス協会が主催する地域リーグ戦に参加したのも、いい思い出です。

日本に帰国してからも、テニスでの縁は広がっています。今働いている政府系のファンドでは、大学の体育会テニス部の出身者が多く、時々テニス談議に花を咲かせています。また、最近はテニス用のアプリを通して、地元のコートで様々な年齢や職業の人達と出会う機会があります。普段の生活ではなかなか話をする機会がない人とも、テニスをすると仲良くなれるのは不思議なものです。

あの時、友人が屋代高校のテニス班に誘ってくれなかったら、今の自分のキャリアや生活がなかったと思うと、不思議な気がすると共に、友人には感謝の念しかありません。テニスは生涯スポーツ。今後もテニスが繋いでくれる縁を楽しみたいと思っています。

特別寄稿

新たな出会いと挑戦の一年

元宝塚歌劇団　星組
朱紫令真（高校65回生）

今年も残りわずかとなりました。皆さまにとって、どのような一年だったでしょうか。

私にとってこの一年は、新たな挑戦をたくさんいただいた変化の年となりました。大きな出来事は二つあります。

一つ目は「講師業」を始めたことです。宝塚時代に培った歌とダンスの経験を活かし、現在は毎週火曜日の午後に長野県カルチャーセンターでレッスンを行っています。またご縁をいただき、富山県のミュージカルスクールでも講師を務めています。そして赤地憲一同窓会長とのご縁により、本年度から松本歯科大学で非常勤講師として授業を担当するようになりました。

カルチャーセンターの生徒さんの多くは私より年上の方々で、中には70代の方もいらっしゃいます。「レッスンを受けるのはもちろん、皆さんと会えるのが楽しみ。活力をもらっています」と言っていただくたびに、私の方が元気をいただいています。

富山では未就学児から高校生までの子どもたちを指導しており「先生のおかげで優秀賞を取れました!」と笑顔で報告してもらえると、何よりの喜びです。松本歯科大学では、将来歯科医師を目指す学生の皆さんに「コミュニケーション・第一印象向上」をテーマに授業を行っています。

年齢や目的はそれぞれ違っても、私が大切にしているのは「わかりやすく伝えること」です。難しい言葉を使わず、時には擬音語を使い感覚的に伝えたりしながら、常に「伝わっているかな?」と頭をフル回転させています。理解できると学びは一気に楽しくなり「もっと知りたい」という気持ちが生まれます。その〝わかる楽しさ〟をこれからも大切に伝えていきたいと思います。

二つ目の変化は、長野のタレントマネジメント会社「メーク株式会社」と業務提携し、テレビなどのメディアに出演する機会が増えたことです。事務所のアナウンスレッスンにも通い、話し方を一から学び直しています。ロケでは緊張してNGを出してしまうこともありますが、舞台とはまた違う世界に刺激を受け、新しい学びを楽しんでいます。これからも挑戦を重ねながら、自分らしく成長していけたらと思っています。

2025年、巳年は「実りの年」と言われます。振り返れば、私にとっても多くの実りとご縁に恵まれた一年でした。来年も一つひとつの出会いと仕事を大切に、さらに飛躍できるよう励んでまいります。

また東京鳩会の皆さまにもお会いできる日を、心より楽しみにしております。

朱紫（あかし）　令真（れいま）

長野県長野市出身。2014年3月『宝塚をどり』で初舞台。同年4月、星組に配属。2023年4月「LeRouge et le Noir ～赤と黒～」日本青年館公演をもって退団。

東京鳩会ホームページ

東京鳩会のホームページにて、総会出欠の返事も出来ますので、
下記アドレスにアクセスして下さい。
そのほか皆様からの情報や投稿を随時お待ちしております。
またホームページ編集委員を募集しています。メールでご連絡下さい。

http://www.t-hato.jp　メール：info@t-hato.jp

第40回 東京鳩会総会開催

日　時　　令和8年2月14日（土）
　　　　　受 付　午後2時30分～
　　　　　開 会　午後3時

場　所　　東京ガーデンパレス　3階　平安
　　　　　(御茶ノ水駅・新御茶ノ水駅より徒歩5分)

P・G・ウッドハウス、ジーヴス・シリーズ　翻訳者
森村　たまき（高35）
小平市上水本町三―一六―五二
E-mail：tamakisylvania@chime.ocn.ne.jp

スソニティジャパン合同会社
社長
職務執行者
最高経営責任者
久保田　裕一（高45）
東京都目黒区下目黒一―八―一
アルコタワー7階
E-mail：yuichi.kubota@susonity.com

祝田法律事務所
弁護士
村松　頼信（高55）
東京都千代田区丸の内三―四―一
新国際ビル九階
☎〇三―五二一八―二〇九八
E-mail：y-muramatsu@iwaidalaw.com

左記の方々から寄付金を頂きました。
感謝申し上げます。

宮城宏成様（高9）
倉島洋二様（高19）
菊池修治様（高19）
北澤悦雄様（高19）

広告・寄付を募ります

東京鳩会運営に資するため年会費に加えて
会員有志の方々からの寄付金を募っております。
本会報への広告も歓迎します。
幹事までお申越し下さい。

東京鳩会役員名簿（令和７年度12月現在）

会　　長
重見憲明（高17）
相談役
柿﨑正義（高９）
顧　　問
河口　収（高14）
木谷　孝（高15）
幹事長
岡田正夫（高17）
会　　計
伊東博道（高20）
監　　事
水澤恒男（高20）
総務担当幹事
仁科　陽（高14）
柳澤　久（高18）
倉島洋二（高19）
安川　信（高19）
伊東博道（高20）
平井直之（高35）
兒玉孝子（高41）
広報担当幹事
峯村英治（高20）
森　正明（高21）
清水　勝（高21）
神野明久（高29）
宮澤信彦（高34）
森村たまき（高35）
梅原由香（高35）

学年幹事
（高２）宇野　忠
（高６）松井　登
（高８）武井　武
（高９）宮城宏成、山﨑裕一
（高10）松澤修二
（高13）浅野井眞、袖山周一
（高14）河口　収、仁科　陽
（高15）木谷　孝
（高16）二村恒元
（高17）重見憲明、岡田正夫
（高18）柳澤　久
（高19）倉島洋二、安川　信
（高20）水澤恒男、峯村英治、伊東博道
（高21）清水　勝、森　正明
（高22）高橋　修
（高29）神野明久、竹内正彦
（高31）沓掛英二
（高34）宮澤信彦
（高35）森村たまき、梅原由香、平井直之
（高37）宮澤康一
（高41）兒玉孝子
（高45）久保田裕一
（高55）村松頼信
（高57）小篠　優、太田　擁、佐藤伊都也

ゴルフ部（部長：神津修吉（高17）、幹事：清水　勝（高21））

総会レポート

本年度東京鳩会総会は令和7年2月15日（土）、東京ガーデンパレス2階天空の間にて開催されました。地元長野からは赤池憲一同窓会長（高17回）、馬場正一校長（高36回）ならびに長谷川はるみ副会長（高34回）にご来賓としてご臨席を賜り、歓談の時を共有しました。

第1部総会の司会、岡田正夫幹事長（高17回）による開会宣言の後、元宝塚歌劇団星組朱紫令真さんが屋代高校校歌を独唱し、続いて仁科陽氏（高14回）の指揮の下、参加者全員で校歌を斉唱しました。また伊東博道氏（高20回）より物故者のお名前が読み上げられ、出席者全員で黙祷を捧げ、ご冥福をお祈りしました。

重見憲明会長（高17回）は、ご臨席いただいた来賓ご一同に感謝を述べ、今年も総会を無事開催できたことを共に喜び合いました。続いて伊東氏より令和6年度の事業・活動及び決算報告、更に令和7年期の事業・予算計画報告が行われ、拍手をもって承認となりました。

赤地憲一鳩会会長（高17回）からは母校鳩会の活動や活躍する同窓生の紹介があり、続いて馬場校長より、今年度の進学実績の報告をはじめ様々な分野で活躍する母校健児たちの活動が報告されました。

総会終了後、出席者一同の集合写真撮影をはさんで、第二部懇親会の開宴となりました。司会は森村たまき（高35回）、乾杯の音頭は唐木田正二氏（高7回）。和やかに歓談が進む中、海上保安庁次長宮澤康一氏（高37回）が登壇してご挨拶と海上保安庁の業務についてご紹介をしてくださいました。

続いて元宝塚歌劇団星組、朱紫令真さんは『すみれの花咲く頃』を華やかに独唱し、大きな拍手を浴びました。長野県内でタレントとして活躍される朱紫さんは、今年は松本歯科大学講師として授業を担当されるなど、活動の場を大きく広げておいでです。

野村不動産ホールディング会長沓掛英二氏（高31回）をはじめとする今回初参加の皆さんの自己紹介とご挨拶には、温かい拍手が寄せられました。今回は現役大学生２名の参加があり、挨拶には熱い拍手が送られました。

恒例県歌『信濃の国』斉唱、応援歌第一『東の空に』、応援歌第二『北斗の星の』斉唱の際には若手参加者たちが揃いの鉢巻を巻いて登壇し、共に熱唱して喝采を浴びました。

倉島洋二氏（高19回）による閉会挨拶と、宮澤信彦氏（高34回）による関東一本締めで一同の健勝が祈念され、懇親会はお開きとなりました。なおその後、瀬在幸安先生（高1回）の訃報に接し、ご逝去は15日の14時半、総会受付開始と同時刻だったと伺って、あの場には瀬在先生のみたまもご臨席だったのではと思いを馳せてしまいました。末筆ながら心よりご冥福をお祈りいたします。

（文責　森村たまき）

重見会長

集合写真

ご来賓の方々

応援歌の熱唱

懇親会の１コマ

唐木田先輩（高７回）による乾杯のご発声

ゴルフ部報告

東京鳩会ゴルフ部は年２回春と秋にコンペを開催しています。

今年の春は残念ながら天候不良のため中止となりましたが、秋にはいつもの紫カントリークラブあやめ西コースで開催することができました。

秋の第80回大会は10月９日台風22号が関東に接近し、一時は開催も危ぶまれましたが、台風の急旋回により一転、ゴルフ日和となり和やかに行われました。

この会も高齢化が進行し、9名全員がシルバーティー使用の有資格者となりましたが、最終組の高21回生のみレギュラーティーを使用しました。

成績は中沢さん（高21回）がグロス89で初優勝されました。昨年に続きエージシュートを達成された酒井さん（高13回）がグロス80で準優勝されました。

次回第81回東京鳩会ゴルフコンペは２０２６年４月22日（水）08：29より同じく紫カントリークラブあやめ西コースにて予定しています。多くの方の参加を希望します。参加ご希望の方は幹事清水までご連絡をお待ちします。（清水）

編集後記

本年も会報三十四号の発行ができました。ひとえに皆様方のご協力・ご寄稿・ご寄付・広告などのご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

母校の昨年度の進路実績は国公立大学進学率県内1位、『全国大学「合格力」ランキング』県内３位と素晴らしく、課外活動においてもギター・マンドリン班、野球班の健闘ぶりは称賛に値するもので、今後に益々期待がふくらみます。

屋高健児をご指導下さる教職員の方々に敬意を申し上げます。又野球班健闘の影に68年前ベスト８に貢献された当会員春原正道氏85歳の５年に及ぶ熱血指導があったと知り胸が熱くなりました。

25年度の総会・懇親会は令和8年２月14日（土）昨年同様東京ガーデンパレスにて開催される運びとなりました。会員皆様のご出席をお待ちしています。

森正明（高21）

東京鳩会　第42期決算報告（自令和６年４月：至令和７年３月）

単位：円

収入金額		支出金額	
前年度繰越金	513,780	総会費用	512,500
年会費	272,000	事務費	30,410
会報広告・寄付金	130,000	会報印刷費、送料	314,234
総会参加費	376,000	通信費	26,342
祝儀	36,000	ＨＰ維持費	65,450
収入合計	1,327,780	支出合計	948,936
次期繰越金額			378,844